



特別講演「医療事故の経験から伝えたいこと」

「第14回山梨医療安全研究会特別講演を聴いて」
山梨県立中央病院医療安全管理室 深澤智美



6月1日、山梨県立中央病院多目的ホールにおける研究会特別講演では患者・家族と医療をつなぐNPO法人架け橋理事の高山詩穂氏より、2000年に発生した京都大学

医学部附属病院人工呼吸器事故の加害者の立場からのお話を伺いました。

高山先生と時を同じく就職した私にとって、この講演は疑似体験をしているような感覚で聞くことができ、大変感慨深いものでした。本年4月から医療安全管理室でルールを守ることの大切さを呼び掛ける日々ですが、そのルールは、これまで全国で発生した数々の事故による患者家族そして医療者の苦しみを二度と繰り返さないために生み出された方策であるということ、さらには「医療者と患者の時間の流れの違い」を知り、患者に“すぐに”“誠実に”向き合うことの大切さを全職員に伝えていきたいと思いました。

第14回大会実践報告 優秀賞

「喉頭鏡の安全管理の検討」

山梨勤労者医療協会甲府共立病院 臨床工学室 飯窪護

第14回山梨医療安全研究会では、医療安全への取り組み実践報告にて当院の活動報告が優秀賞を頂き、医療安全に関わる皆様に評価して頂いたことを大変うれしく思います。今日では、多職種の間で医療の提供が求められていますが、医療機器の管理においても専門性を活かし、職種を持つ視点で管理することが有効で効果的であると感じています。臨床工学技士は、様々な医療機器の点検に測定装置を用いて数値での性能評価を行っています。今回、喉頭鏡のインシデント報告から喉頭鏡の照度低下を確実に点検する方法を検討した結果、照度計による照度測定と電池電圧を電池電圧チェッカーで測定することで、性能評価を行えることを確認しました。現在当院では、看護師による毎日の目視点検と臨床工学技士による月一回の照度計と電池電圧チェッカーによる点検を実施して、喉頭鏡の安全管理を行っていることを今回報告しました。

また、特別講演では、医療従事者として業務する上で、生涯忘れてはいけない講演を聴く機会を頂きました。今後も医療安全とより質の高い医療の提供を目指して取り組んでいきたいと思っております。

第1回 医療安全教育セミナーのお知らせ

日時：2019年9月28日(土) 14:00~16:00

会場：山梨県立中央病院 2階多目的ホール

「今、医療事故被害者から医療者に望むこと

～ぼくの『星の王子さま』へ執筆から20年を経て～」

講師：勝村 久司氏

(医療情報の公開・開示を求める市民の会世話人、

患者の視点で医療安全を考える連絡協議会世話人)

参加費：会員 無料 非会員 2,000円(当日入会可)

参加申し込みはホームページで！

第14回大会実践報告 最優秀賞

「これまでの活動からの学びと今後への抱負」
健康科学大学看護学部 医療安全同好会
代表 北沢真侑



健康科学大学看護学部医療安全同好会は現4年生である私たち5人が2年次に発足しました。初めは安全の知識も乏しかった私たちは、小林美雪

先生の力もお借りしながら「安全とは何か」というところからはじめ、現在に至るまで継続的に学びを深めてきました。また、山梨医療安全研究会の研修会など貴重な学びの場にも参加させていただき、学生だけでは学ぶことが出来ない、現場での医療安全対策や当事者の声に触れることができました。臨床で実践されている方々と共に学べることにとても感謝しています。

この度は、医療安全研究会大会という大きな場で、これまでの安全の学びや、学生が実習で感じた安全についての調査を報告したことで、多くの参加者に評価していただき、最優秀賞をいただくことが出来ました。皆様から教えていただいた学びが実を結んだように感じとても嬉しく思いました。調査に協力していただいた学生達や小林先生に心より感謝いたします。今後、医療現場に出るにあたり、患者様の命を預かる立場として、さらに活動を広げ、学びを深めていきたいと思っております。

医療安全管理担当者の紹介 No.13

市立甲府病院 GRM 向山 ゆりか

頑張ります！



今年度、医療安全管理室に配属となり写真のメンバーと常に情報共有し相談しながら活動しています。今回、山梨医療安全研究会の仲間入りをさせて頂き、他施設の医療安全への取り組み

を知ることや、他職種と連携して医療に係る安全性の向上に努めていくことが大切だと強く実感し、GRMとしての役割、責任を果たしていきたいと考えています。

当院では、平成30年度のインシデント・アクシデントの報告は、5,068件(前年度904件増加)と大幅に増加し、些細な内容でも、重大な事故に繋がりがねない事例も報告するといった報告文化の醸成がされてきています。インシデントの発生時、まずは現場に出向いて確認する事が最も重要だと考え、院内巡視の強化や研修による職員の安全意識の強化に努めていきたいと考えています。宜しくお願い致します。

編集後記：第14回山梨医療安全研究会大会では、山梨県の医療安全の進化を感じました！ 会報担当：内藤/古屋

一般社団法人山梨医療安全研究会ホームページ

<http://yamanashi-iryooanzen.com>

(face book も開設しています)